



県広報

みやざき

Miyazaki Prefectural News Letter

10

2020 October
令和2年10月
偶数月発行

次回は12月に発行します。

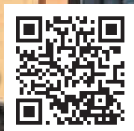
防災の拠点、完成

特集



「宮崎県広報」Facebook、Twitter発信中！
宮崎県公式LINEアカウント開設！

宮崎県HP
はこちら→



Facebook
はこちら→



Twitter
はこちら→



LINE
はこちら→



防災の拠点、完成—

平成29年度に建設工事に着手し、今年7月に完成、8月より供用を開始した防災庁舎。今回は、新たに県の防災の要となる「防災庁舎」についてご紹介します。



防災庁舎完成セレモニー（8月1日）

建物の概要

- 延床面積：25,155㎡
(防災庁舎：24,406㎡、5号館：749㎡)
- 構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、免震構造
- 階数：地上10階・地下1階建て
- 建設事業費：123億円（県庁5号館・外構工事含む）

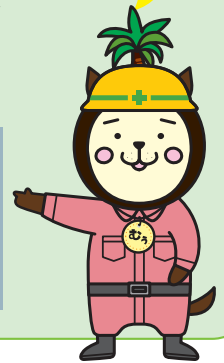
Q 防災庁舎はどうして建設されたの？

A 県庁舎は大規模地震などの災害時に、防災の拠点としての役割を担いますが、庁舎が、**12棟**（本館、附属棟、1～10号館）に分散しており、災害応急対策を行う上で、県災害対策本部の総合対策部と部局対策室（県庁各部局）の**連携が図りにくい**、各庁舎とも狭く、関係機関が一堂に会して活動するための**広いスペースを確保することができない**、いずれの庁舎も**防災拠点としての機能を維持するために必要な耐震性能を満たしておらず**、震度6強以上の大地震が発生した場合には、建物にひび割れなどが生じ、**使用が困難となる事態が懸念される**などの課題を抱えていました。

さまざまな課題を克服するために建設されたんだね

そこで

県民の生命と財産を守る災害応急対策の**司令塔としての機能**や、国・市町村などの関係機関との連絡調整など、**重要な役割を果たす庁舎が必要**との認識のもと、平成24年から検討を行い、平成26年度から事業を進めてきました。



万が一、災害が発生した時のために…

十分な災害応急対策活動の場の確保

- 県災害対策本部や国、自衛隊などの関係機関の活動スペースを確保。
- 防災庁舎前広場は、災害時の自衛隊や消防などの大型車両駐車スペースとして活用。
- 屋上には、県防災救急ヘリコプター「あおぞら」などが発着できるヘリポートを設置。



▲ヘリポート

災害発生時における必要なライフラインの確保

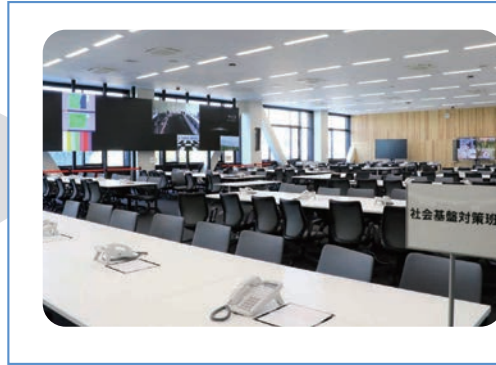
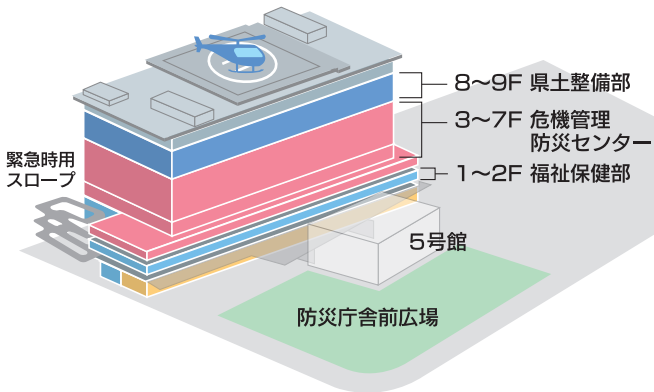
- 最長14日間の連続運転が可能な非常用発電機を設置。
- 断水時に貯留雨水および井戸水を飲料水として利用できる浄水設備や、下水道が機能停止した場合、7日間程度貯留できる地下排水槽を設置。



▲非常用発電機

庁舎紹介

防災庁舎と県庁5号館の中身について、ポイントをご紹介します。



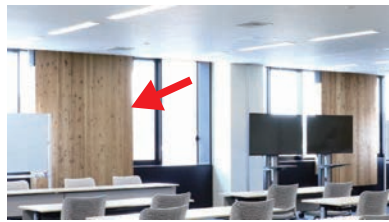
3階総合対策部室

大型モニターを配置し、被災状況などの情報を瞬時に把握することができます。



執務室

業務内容の変化に対応しやすいよう、部署間の間仕切りがないオープンオフィスを採用。



CLT 耐震パネル

建物の横揺れを支える部材の一部としてCLT(直交集成板)耐震パネルを使用。



地下免震装置

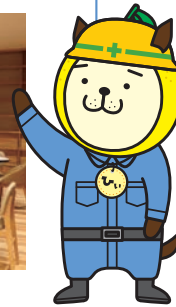
免震構造の採用により高い耐震性能を有しているため、大規模地震などにおいても、災害応急対策や通常業務を継続して行うことができます。



1階エントランス



1階休憩スペース



1階やエレベーターホールなどは、県産材を活用した造りになっているよ！

藪田 亨

危機管理統括監



防災庁舎の整備にあわせ、災害関連情報を防災関係機関で共有するためのシステムなども整備しました。今後は、このシステムや新たな施設・設備を有効に活用できるよう、防災訓練や研修などを充実させ、関係機関と連携して本県の災害対応力をさらに向上させていきたいと考えています。

昭和元年に建てられた5号館は、宮崎市の景観重要建造物に指定されており、防災庁舎の建設に伴い、^{ひきや}曳家工法にて移設し、創建当時の状態に復元する改修工事を行いました。

会議室などとして活用します。



常在
危機

防災・防犯情報メールをご活用ください!!

県では防災・防犯情報を携帯電話やパソコンにメールで配信しています。
県民の皆さまの命を守るために重要で有益な情報
もりだくさんとなっています。
防災・防犯情報メールで早めに情報を入手し、災害に備えましょう!!

皆さん、
登録お願
い
します!



防災・防犯情報メールで提供している10の情報

- 防災情報
- 防犯情報
- 消防情報
- 地震情報
- 津波情報
- 注意報警報
- 火山情報
- 台風情報
- 畜産疾病情報
- 竜巻注意情報

手順
1

登録用アドレスに空メールを送信

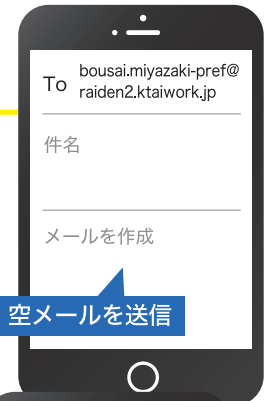
配信を希望する携帯電話やパソコンから、登録用メールアドレスに空メール（件名や本文のない電子メール）を送信してください。

登録用メールアドレス

bousai.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp



空メールを送信



手順
2

仮登録確認メール受信

本登録用URLが記載されたメールが届きますので、URLをクリックして、本登録ページに接続してください。

※迷惑メールフィルタを設定している方は、システムからのメール(miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp)が受信できるよう設定の変更をお願いします。

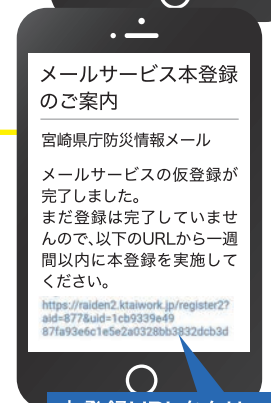
メールサービス本登録のご案内

宮崎県庁防災情報メール

メールサービスの仮登録が完了しました。まだ登録は完了していませんので、以下のURLから一週間以内に本登録を実施してください。

<https://raidan2.ktaiwork.jp/register?aid=877&uid=1cb9339e49877a93e6c1e5e2a0328b53232dcb3d>

本登録URLをクリック



手順
3

本登録

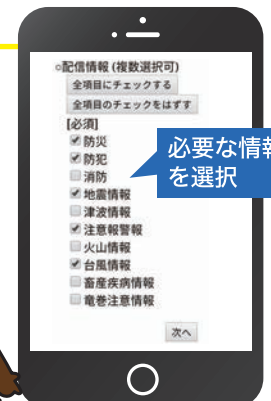
10の情報から必要な情報を選択してください。

- 防災情報は市町村単位、防犯情報は警察署単位、消防情報は消防本部単位で選択できます。
- 各情報の配信を希望する配信地域を選択し、確認ボタンを押してください(複数選択可)
- 不要な情報は選択しなければ配信されません。

配信条件を確認し、画面下部の登録を押してください。

必要な情報
だけが届くから
便利だね

必要な情報
を選択



※画像はイメージ

問 危機管理課 ☎0985 (26) 7066

新型コロナウイルスに対する県の取り組み



県では、9月補正予算案として、222億円(うちコロナ対策分80億円)の予算案をとりまとめました。今回の対策分を含めるとコロナ対策予算は、総額598億円の事業を計上することとなります(既定予算による対応を除く)。

●9月補正予算案におけるコロナ対策のポイント

1 感染拡大防止策と医療体制の整備 28.5億円

クラスターの発生など、本県における事実上の第2波への対応などを踏まえ、感染拡大防止を徹底するとともに、PCR検査体制などのさらなる強化を推進します。

▶感染拡大防止を徹底するための対策 6.3億円

- 保健所および福祉こどもセンターの衛生環境改善のための施設改修など
- 県立学校、県立図書館、国民宿舎などの衛生環境改善のための施設改修など

▶PCR検査・医療体制のさらなる強化 22.0億円

- クラスター発生などに備えたPCR検査体制の強化
- 医療従事者などに対する慰労金の支給(対象者の増)や、精神科救急医療機関への支援

▶危機事象への備え 0.2億円

- 大規模災害に備えた備蓄物資(マスク・消毒液)の購入



2 雇用維持と事業継続のための支援(セーフティネット) 36.2億円

県内の中小・小規模事業者の事業継続を強力に支援するため、各金融機関と連携し、資金繰り支援を大幅に拡充するとともに、コロナ関連で離職を余儀なくされた方を採用する県内企業を支援することにより、県内の雇用を守り抜く取り組みを推進します。

▶地域を支える中小・小規模事業者への支援 35.7億円

- 中小・小規模事業者の資金繰り支援
(県中小企業融資制度におけるコロナ関連融資枠の拡大:1,000億円→1,800億円)
- 中小企業などの販路回復やICT活用への支援(事業費の増)

▶雇用を守り抜く取り組み 0.5億円

- コロナ関連で離職された方を採用する県内企業に対する支援(採用1名につき10万円の支給)



3 地域経済の再生・復興に向けた支援 8.4億円

事実上の第2波や休業要請などにより、厳しい状況におかれている地域経済を維持・再生するため、市町村や商工団体、農業団体などと連携し、秋から冬にかけて、地域における消費喚起・経済活性化を推進します。

▶飲食店などを応援する取り組み 1.2億円

- 国の「Go To Eat キャンペーン」を活用した全県的なプレミアム付食事券(ひなた食事券(仮称))発行支援

▶地産地消・応援消費の輪を広げる取り組み 7.3億円

- 市町村におけるプレミアム付商品券発行支援(第2弾)など、地域の実情に応じた消費喚起・商業振興策への支援



4 みやざきの成長へつなげる取り組み 6.6億円

「ポスト・コロナ社会」を見据え、農林水産業やフードビジネスの基盤強化、地域におけるデジタル化・リモート化の推進など、本県の成長へつなげるこれまでの取り組みのさらなる強化を図ります。

▶農林水産業の基盤強化 0.6億円

- 農作物の輸出拡大に向けた設備導入などへの支援や外食産業の店舗改装などへの支援

▶デジタル化・リモート化の推進 6.0億円

- 商工会・商工会議所などにおける情報機器整備などへの支援
- 県庁テレワーク環境整備などによる行政事務のデジタル化・リモート化の推進



問 財政課 ☎0985(26)7015

●特命チームを結成しました!

県では、郡司副知事をチーム長とした「新型コロナウイルス対策特命チーム」を結成しました。特命チームでは、各所属から職員が招集され、市町村との連絡調整や宿泊療養施設の立ち上げ、県民の皆さまへの情報発信など、感染症対策に職員一丸となって取り組んでいます。



皆さん加入していますか!?

自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化されます



子どもから高齢者まで幅広く利用され、私たちにとって身近な乗り物である自転車。誰もが手軽に利用できる一方で、交通ルールやマナーを守らないなどにより自転車に関係する事故が多く発生しています。

県では、皆さんが自転車をより安全で適正に利用していただくために「宮崎県自転車の安全で適切な利用の促進に関する条例」を制定します。（※令和2年9月議会での議決をもって、令和3年4月から施行されます。）自転車は車両であることを再認識し、交通ルールとマナーを守って、安全に利用しましょう！

（宮崎県自転車条例 3つのポイント）

努力義務

ヘルメットの着用



- 幼児用座席に幼児を乗車させるときは乗車用ヘルメットを着用させる
- 高齢者（70歳以上）の乗車用ヘルメットを着用するように努めなければならない

義務

保険加入の義務化



- 自転車損害賠償責任保険等へ加入しなければなりません

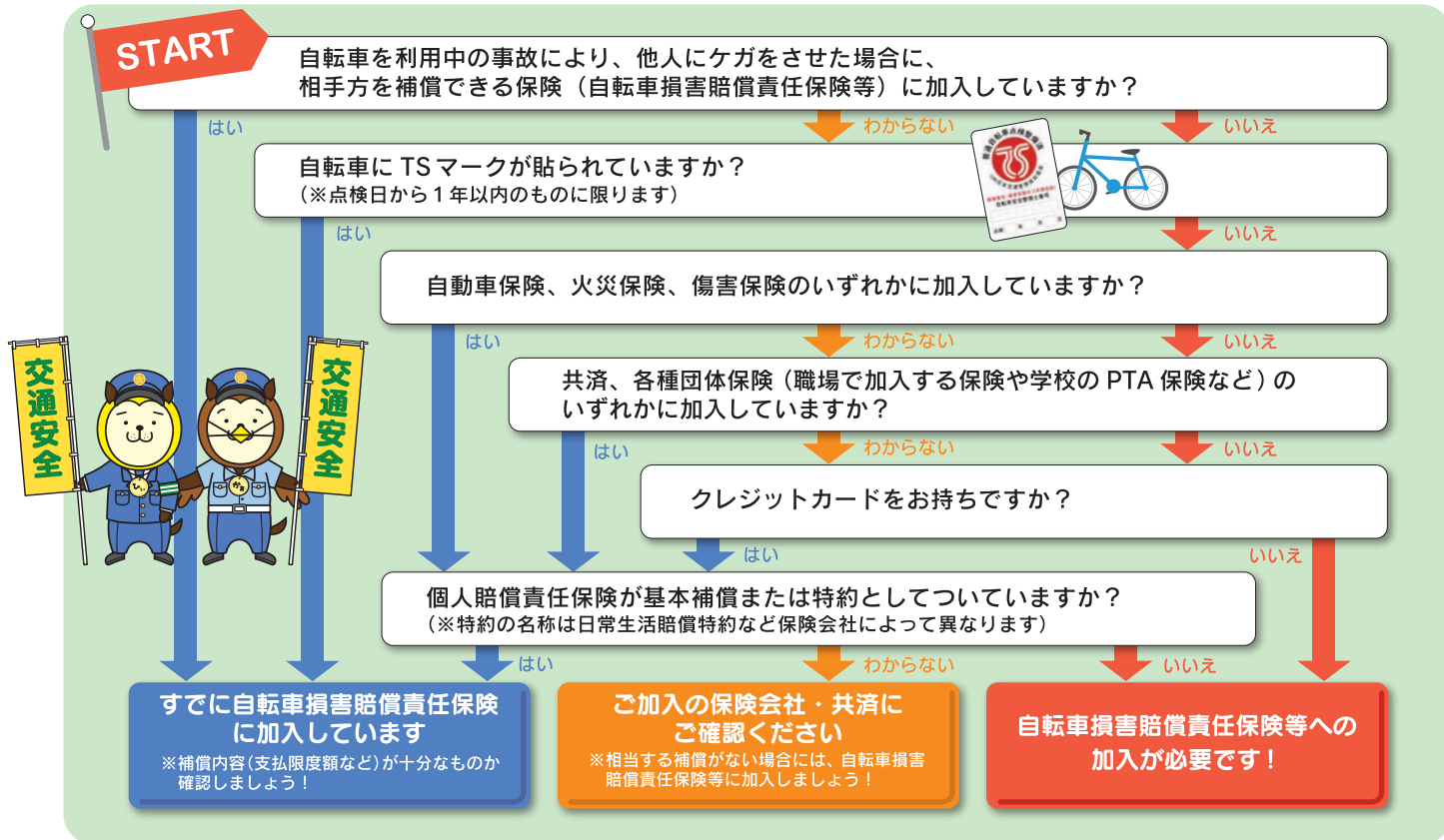
努力義務

自転車の点検整備



- 自転車の点検整備を定期的の実施しましょう

（自転車損害賠償責任保険等の加入状況を確認してチェックしましょう）



宮崎県自転車条例について、詳しくは県ホームページをご覧ください。

宮崎県自転車条例

検索

問 生活・協働・男女参画課 ☎0985 (26) 7054



危機管理

県の新たな防災拠点となる「防災庁舎」が完成し、8月から供用を開始しました。南海トラフ巨大地震などの大規模災害時に、県民の生命と財産を守る司令塔の役割を担います。

地上10階建ての庁舎は十分な耐震性・耐浸水性を有し、屋上ヘリポートや、国、自衛隊、消防等の活動スペースなど、長期間にわたり災害応急対策を円滑に実施するための機能を備えています。先日の台風10号でも機能を発揮しました。また、県産材で内装を木質化し、CLT(直交集成板)の活用など、木のぬくもりが感じられる庁舎となっています。

8月1日に予定していた落成式典や県民見学会は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ見送りましたが、いずれ県民の皆さまに見学いただく機会を設けることとしています。

この防災庁舎に最初に入居したのは、私の指示で設置した「新型コロナウイルス対策特命チーム」。その後、危機管理局や県土整備部、福祉保健部、病院局などが業務を開始。コロナ対策の司令塔としてのスタートとなりました。

新型コロナウイルス感染症については、7月下旬以降、本県初のクラスター(感染集団)が発生するなど感染が急増し、事実上の第2波に直面。県独自の「感染拡大緊急警報」や飲食店への「休業要請等」など、徹底的な封じ込め対策を実施してま

いりました。県民の皆さまのご理解とご協力により、8月下旬には一定の落ち着きを見せていますが、次なる波に備え、さらなる感染防止対策に取り組んでまいります。

8月27日、口蹄疫の終息から10年を迎えました。この節目のタイミングで、宮崎空港に検疫探知犬が配備されることとなりました。

検疫探知犬とは、手荷物の中から動植物検疫が必要な肉製品や果物などを嗅ぎ分けて発見する訓練を受けた犬のこと。口蹄疫やアフリカ豚熱など家畜伝染病の国内侵入を防ぐため、水際防疫の重要な役割を担います。配備にあたりご尽力いただいた江藤拓農林水産大臣をはじめ、農林水産省の皆さまに感謝申し上げます。

新型コロナウイルスにせよ家畜伝染病にせよ、ウイルスが持ち込まれるリスクは常に存在し、最大限の警戒が必要です。また、激甚化する風水害や火山活動など自然災害への対応強化も急務です。今後とも、「常在危機」の意識を徹底し、ハード・ソフト一体となった危機管理体制の充実・強化に取り組んでまいります。



デモンストレーションで河野知事(右から2人目)の手荷物から肉製品を嗅ぎ分けた検疫探知犬(宮崎空港)

情報アラカルト

「新 かぼちゃといもがら物語」#5 『神舞の庭』

宮崎を舞台に“今を生きる”人々を描く演劇公演。一昨年に初演し話題となった作品を“新演出版”で上演。

期間・場所

10月23日(金)～25日(日)〈メディキット県民文化センター〉

10月31日(土)～11/1(日)〈延岡総合文化センター〉

料金 1,500円～3,500円(全席自由/日時指定)



大沢 健



東風 万智子

問 メディキット県民文化センター ☎0985(28)7766

美の旅 西洋絵画400年 — 珠玉の東京富士美術館コレクション展 —

東京富士美術館の収蔵作品の中から、ティントレットやモネ、ルノワール、ゴッホらの作品を展示します。

期間 11月3日(火・祝)まで

場所 県立美術館

開館時間 10:00～18:00(入場は17:30まで)

料金 一般 1,200円、小中高生 500円

休館日 月曜日(祝休日を除く)・休休日の翌平日

問 県立美術館 ☎0985(20)3792



クロード・モネ「睡蓮」
©東京富士美術館イメージ
アーカイブ/DNPartcom

〈特別展〉国宝馬具とその時代

宮崎県唯一の国宝である百塚原古墳群出土の金銅製馬具を中心に、古代日向に騎馬文化が導入されたプロセスを探ります。

期間 10月3日(土)～12月6日(日)まで

場所 西都原考古博物館展示室

開館時間 9:30～17:30(入場は17:00まで)

料金 無料

休館日 月曜日(祝休日を除く)・祝休日の翌平日

問 西都原考古博物館 ☎0983(41)0041



金銅製馬具
伝西都原古墳(百塚原古墳群)/西都市

〈博物館講座〉「自然の色で染めてみよう」

草木染めの工程を体験的に学ぶ初心者向けの講座です。やさしい自然の色で自分だけのオリジナルグッズを作ります。

日時 10月25日(日) 10:00～15:00

場所 県総合博物館 研修室2

対象 小学生以上 定員 20人

料金 無料(※要事前申込)

問 総合博物館 ☎0985(24)2071



みどりの図書館フェスタ

秋の読書週間直前、今年も「みどりの図書館フェスタ」を開催します。

読書に関連したイベントや展示を行います。

日時 10月25日(日) 13:00～15:30(予定)

場所 県立図書館 料金 無料

問 県立図書館 ☎0985(29)2911



※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を延期・中止する場合があります。



P R E S E N T S

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方にプレゼント!

●今回のプレゼント

もらってうれしい県産品の詰め合わせ



《詰め合わせの例》

●応募締切 11月2日(月) ※当日消印有効

応募方法

ハガキに次の事項をもれなく明記の上、〒880-8501 (住所不要) 宮崎県秘書広報課「県広報みやざき読者プレゼント」係までお送りください。
当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

- ①郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号
- ②県ホームページに関するご意見
- ③県広報みやざき 10月号で最も良かったコーナーを1つ
表紙 特集 常在危機 県政トピックス① 県政トピックス②
知事コラム 情報アラカルト 読者プレゼント その他
- ④県広報みやざきに関するご意見

※このプレゼント応募に伴い知り得た個人情報は、プレゼント発送にのみ使用し、それ以外の目的には使用しません。

○県広報みやざきは、年6回(偶数月)の発行で、こんなところにも置いています。

コンビニエンスストア アイショップ、セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン ※一部店舗を除く

その他の設置場所 県民室、県政相談室(西臼杵支庁、各県総合庁舎)、各市町村役場、図書館、市民サービスコーナー、市民プラザ(宮崎市)、金融機関、イオン各店舗など

また、県ホームページ、「miyazaki-ebooks」、「マチイロ」でもご覧になれます。

※県広報みやざきでは、経費節減のためパンチ穴を開けておりません。皆さまにはお手数をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

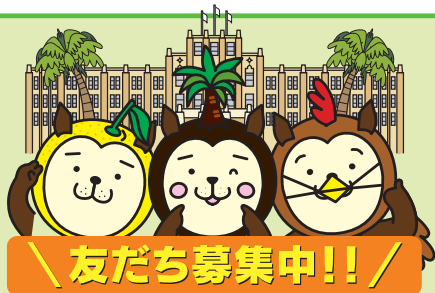
宮崎県の推計人口と世帯数 (R2.8.1現在)

■推計人口/1,064,353人

■世帯数/472,875世帯

編集後記

最近、4歳の娘と「ひむかかると」をやっています。石井十次や高木兼寛、都井岬、鶴戸神宮、マンゴーなど県の先覚者や観光地、特産品などがかるたになっています。県外出身の私にとって知らなかったことが多く、宮崎のことを娘と勉強中です。④



宮崎県の公式LINEアカウントを開設しました。

宮崎の観光、食、自然、文化、防災、感染症対策などに関する情報を発信していきますので、ぜひ、友だち登録をお願いします!

●友だち登録方法



- ①「ホーム」→「友だち追加」→「QRコード」で右の2次元バーコードを読み取る!
- ②「ホーム」→「友だち追加」→「検索」で右のLINE IDを入力!

